

学力検査問題〔世界史〕(その1)

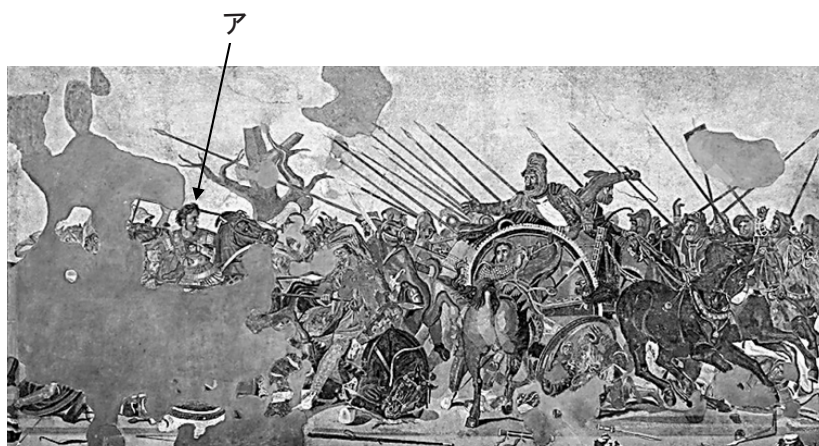
解答はすべて解答用紙に記入せよ。

- 1 次の地図のA～Eは、東西の勢力がぶつかり合った世界史上の重要な戦いが行われた場所を示している。(1)～(5)の問いに答えよ。



- (1) 地図のAは、前333年、マケドニア・ギリシアの連合軍とオリエント世界を統一した国家が衝突した地点である。(i)～(iii)の問いに答えよ。

(i) 次の絵は、この戦いを描いたとされるモザイク画であるが、アの人物は誰か。



(ii) この戦いで敗れた国はどこか。

(iii) この戦い是何か。次のA～Dから1つ選び、記号で記せ。

- A イッソスの戦い B アルベラの戦い C カイロネイアの戦い D マラトンの戦い

- (2) 地図のBは、451年に、フン人と西ローマ・ゲルマンの連合軍が戦った地点である。(i)～(iii)の問いに答えよ。

(i) このとき、フン人を率いていた人物は誰か。

(ii) フン人の侵入は、ゲルマン人の大移動の一つの要因とも考えられるが、ゲルマン人について正しいものはどれか。

次のA～Dから1つ選び、記号で記せ。

- A ゲルマン人の移動は単に武力による侵入ではなく、家族ぐるみの移動であった。
B アングロ＝サクソンは、北アフリカに王国を建国した。
C 原始ゲルマンの社会については、カエサル『ゲルマニア』が重要な資料である。
D 西ローマ帝国は、ゲルマン人の傭兵隊長テオドリックにより滅ぼされた。

(iii) この戦い是何か。次のA～Dから1つ選び、記号で記せ。

- A ヘースティングス B パンノニア C カタラウヌム D レヒフェルト

学力検査問題〔世界史〕(その2)

解答はすべて解答用紙に記入せよ。

(3) 地図の **C** は、侵攻してきたイスラーム軍をヨーロッパ側が 732 年に撃退した場所である。(i) ～ (iii) の問いに答えよ。

(i) この戦いでイスラーム勢力を撃退した人物は誰か。

(ii) この戦いの前に起こった出来事として正しいものはどれか。次の A ～ D から 1 つ選び、記号で記せ。

A ウマイヤ朝の滅亡 B 西ゴート王国の滅亡 C カロリング朝の成立 D カールの戴冠

(iii) イスラーム教について正しいものはどれか。次の A ～ D から 1 つ選び、記号で記せ。

A イスラーム教の開祖は、ムハンマドであり、自ら唯一神アッラーの代理と説いた。

B ヒジュラとは、メディナからメッカに移住した出来事を指す。

C イスラーム教の聖典は、コーランであり、アラビア語で記されている。

D ムハンマドの死後、イスラーム教徒はアリーを初代カリフに選出した。

(4) 地図の **D** は、8 世紀半ば中国軍とイスラーム軍が戦った場所である。(i) ～ (iii) の問いに答えよ。

(i) このときの中国の王朝は何か。

(ii) この戦いの結果、中国からイスラーム世界に伝わった技術として正しいものはどれか。次の A ～ D から 1 つ選び、記号で記せ。

A 活版印刷術 B 火薬の製法 C 製紙法 D 錬金術

(iii) この地域にアラブ人が進出してくると、ムスリム商人と接することなどにより、トルコ人のイスラーム教への改宗が進んだ。このことに関連した文のうち、**誤っている**ものはどれか。次の A ～ D から 1 つ選び、記号で記せ。

A イラン系のイスラーム国家サーマーン朝が、西トルキスタンに建国されるとこの政権のもとで、イスラームへ改宗するトルコ人が増加していった。

B トルコ人のイスラーム化は、最初のトルコ系イスラーム王朝であるサファヴィー朝が東西トルキスタンを合わせたことによりさらに進展した。

C イスラーム化したトルコ人の一部は、その後も西アジアへの移住を続け、セルジューク朝やオスマン帝国を建設した。

D トルコ人のイスラーム化と西方への民族移動は、その後の世界史の展開にも大きな影響をもたらすことになった。

(5) 地図の **E** は、モンゴル軍とヨーロッパ諸侯連合軍の戦いが 1241 年に行われた場所である。(i) ～ (iii) の問いに答えよ。

(i) この戦いは何か。

(ii) モンゴル軍を率いていた人物は誰か。次の A ～ D から 1 つ選び、記号で答えよ。

A オゴタイ B バトゥ C フラグ D チンギス＝ハーン

(iii) 当時十字軍を起こしていた西ヨーロッパは、イスラーム地域を征服していくモンゴル帝国に関心を持ち使節を送った。フランス王が、使節として送った人物は誰か。次の A ～ D から 1 つ選び、記号で記せ。

A モンテ＝コルヴィノ B マルコ＝ポーロ C プラノ＝カルピニ D ルブルック

学力検査問題〔世界史〕(その3)

解答はすべて解答用紙に記入せよ。

2 中国史に関する次の史料 A～F および、それぞれの説明文を読み、(1)～(17)の問いに答えよ。

史料 A

王侯将相いずくんぞ種あらんや

これは、秦末の①農民反乱の指導者のことばである。その反乱は鎮圧されたものの、やがて項羽と劉邦の対立抗争をへて、前 202 年②前漢が成立した。

- (1) 上の資料のことばに関係ある農民反乱は何か。
- (2) 下線部①について、中国史の農民反乱としての性格とは異なり、朝廷と対立する諸侯勢力がおこした乱はどれか。次の A～D から 1 つ選び、記号で記せ。
- A 黄巾の乱 B 赤眉の乱 C 黄巢の乱 D 呉楚七国の乱
- (3) 下線部②に関して、前漢時代の説明として、誤っているものはどれか。次の A～D から 1 つ選び、記号で記せ。
- A 董仲舒の提案により、儒学が官学とされた。
- B 銅貨として半両銭が初めて鑄造された。
- C 紀伝体の歴史書として知られる『史記』が完成した。
- D 均輸・平準などの経済統制策が行われた。

史料 B

上品に寒門なく下品に勢族なし

このことばは、後漢滅亡後の三国の中で、最も有力であった③魏で始められた官吏任用法についていわれたものである。この制度をよりどころとして地方豪族は門閥貴族化し、④魏晉南北朝時代の華やかな文化を生み出すことになった。

- (4) 上の史料のことばに関係する官吏任用法の名称は何か。
- (5) 下線部③について、魏から帝位を奪い晋を建国したのは誰か。
- (6) 下線部④について、魏晉南北朝時代の説明として、誤っているものはどれか。次の A～D から 1 つ選び、記号で記せ。
- A 鮮卑族が建てた北魏は華北を統一し、占田法・課田法を実施した。
- B 東晋の僧法顕はインドへ行き、帰国後『仏国記』を著した。
- C この時代を代表する画家は顧愷之で、「女史箴図」は傑作とされる。
- D 西魏で始まった府兵制は、のちの隋・唐にも受け継がれた。

史料 C

車轆轤 馬蕭蕭 行人の弓箭 各おの腰に在り

これは「兵車行」と呼ばれる杜甫の名作の冒頭の部分である。この時代の背景として、農民に課せられた兵役や重税がある。この作品がつくられてまもなく、⑤8世紀半ばすぎ、大きな内乱があった。⑥唐は ア などの援助を受け、この内乱を鎮圧したものの、その傷も深く、盛唐の文化は終末をむかえた。

- (7) 下線部⑤について、この内乱は何か。
- (8) 下線部⑥について、この時代の説明として誤っているものはどれか。次の A～D から 1 つ選び、記号で記せ。
- A 2代目の皇帝である太宗李世民の治世は、貞観の治と呼ばれた。
- B この時代に流行した景教とは、ゾロアスター教のことである。
- C 7世紀の後半に海路でインドを往復した義浄は、『南海寄帰内法伝』を著した。
- D 韓愈・柳宗元はともに古文の復興に努めた。
- (9) ア に入る適切な語はどれか。次の A～D から 1 つ選び、記号で記せ。
- A 柔然 B キルギス C 突厥 D ウイグル

学力検査問題〔世界史〕(その4)

解答はすべて解答用紙に記入せよ。

史料 D

蘇湖（江浙）熟すれば天下足る

蘇は蘇州，湖は湖州の略で，⑦宋の中期から長江下流域一帯の稲作が中国農業の中心となったことを示すことばである。⑧この時代は商業都市も発達し，それにともない貨幣経済も発展した。

(10) 下線部⑦について，この国の建国者は誰か。次のA～Dから1つ選び，記号で記せ。

- A 耶律阿保機 B 李世民 C 趙匡胤 D 楊堅

(11) 下線部⑧について，この時代の説明として誤っているものはどれか。次のA～Dから1つ選び，記号で記せ。

- A この時代は金融業者が増え，行・作などの同業組合も生まれた。
B 製茶や陶磁器などの手工業も発達し，特に景德鎮は陶磁器の代表的生産地となった。
C 手形として発生した交子・会子が紙幣として使われるようになった。
D 朱子学は北宋の司馬光に始まり，南宋の朱熹によって大成され，日本や朝鮮の思想にも大きな影響を与えた。

史料 E

滅満興漢

これは，19世紀半ば，イを指導者とする⑨太平天国の動乱の際に掲げられたことばである。太平天国滅亡後，国内の秩序は一時的に安定し，太平軍鎮圧に活躍した漢人官僚らは，⑩富国強兵をめざして西洋の学問や技術を導入した。

(12) イに入る人物は誰か。

(13) 下線部⑨について，太平天国軍について述べた文のうち正しいものはどれか。次のA～Dから1つ選び，記号で記せ。

- A 太平天国軍は，北京を占領してここを天京と名づけた。
B アヘンの吸引の禁止や纏足の実施，天朝田畝制度と称する土地の均分をうち出した。
C 清の強制する辮髪をやめて長髪にしたので，長髪賊とよばれた。
D 太平軍を破ったのは，曾國藩や李鴻章などの常勝軍であった。

(14) 下線部⑩について，「中体西用」の立場をとる運動は何か。

史料 F

耕す者，その田あり

これは，中国革命の指導者孫文のことばである。孫文は，⑪清朝打倒のため，1894年興中会を組織し，1905年に東京でウを結成して，三民主義を主唱した。「耕す農民に土地を」の主張は，地主制の打破をエへの一大要素と考えた孫文の思想をよく示している。

清朝は打倒され，中国にアジア初の共和国が誕生した。

(15) 下線部⑪について，1911年に勃発し，清朝が打倒された革命は何か。

(16) ウに入る適切な語は何か。

(17) エには，三民主義が掲げる3つの言葉のうちの1つが入る。これは何か。

学力検査問題〔世界史〕(その5)

解答はすべて解答用紙に記入せよ。

3 次の文章を読み、(1)～(7)の問いに答えよ。

1929年10月24日、ニューヨークのウォール街の株式取引所での株価暴落は、たちまち世界各地に波及し、史上空前の規模での世界恐慌が発生した。この恐慌は各方面に深刻な影響をあたえた。当時、ア出身のアメリカ大統領イは、恐慌からの回復をはかったが成功せず、1932年の大統領選挙で、ウに敗れた。新大統領は、大統領就任後まもなく、恐慌と不況から経済を立ち直らせるために、①ニューディールと呼ばれた経済政策を採用し、農・工業の再建をはかった。

またこの恐慌は、ヨーロッパ各国にも影響をあたえた。イギリスでは、産業と貿易が打撃を受け、失業者のための巨額な手当が政府財政を圧迫した。危機に陥ったイギリスは、エが挙国一致内閣をつくり、1931年、オを停止し、また19世紀以来長期にわたって続けてきた自由貿易を放棄し、保護貿易に移行した。

ドイツでは恐慌発生とともに、アメリカ資本が引き上げられたため、たちまち深刻な経済混乱に見舞われた。これと同時にヴァイマル共和国の民主政治も機能麻痺に陥った。絶望した大衆の心は、急速に共和国から離れ、その一部は、カ支持に向かい、より多数、特に都市中間層や農民がナチスに走った。ナチスは、たぐみな宣伝と大衆運動によって人々の支持を集め、1932年の総選挙では第1党となった。

1933年1月、キ大統領はヒトラーを首相に任命した。政権についたヒトラーは、3月に成立した新議会で《 ② 》を通過させ、ほかの政党を解体または解散させて、強力な1党独裁を実現させた。

ナチスは、大規模な公共事業をおこすなどして、国民の支持を得たが、一方、国内では、秘密警察や親衛隊などを用いて反対者等を迫害し、文化統制や教育の支配を強めて、画一的な全体主義国家を建設した。③このため、社会主義者・民主主義者・ユダヤ人など多数が外国に亡命した。

ナチスは、1935年には住民投票によってク地方を編入した。同年ナチスが徴兵制の復活と再軍備を宣言すると、イギリス、フランス、イタリアは抗議したが、まもなくイギリスは、ドイツと海軍協定を結び、事実上再軍備を追認した。1936年ドイツは仏ソ相互援助条約調印を理由にケ条約を破棄し、コに軍を進駐させた。

1938年3月、ヒトラーはオーストリアを併合し、さらに領土の拡大を目指した。イギリス首相サは、フランス首相ダラディエ、ヒトラー、イタリアのムッソリーニと④ミュンヘン会談を行ってドイツの要求に譲歩した。

経済基盤の弱体なイタリアは、恐慌によってたちまち行きづまった。ムッソリーニは、対外侵略によって苦境を脱しようとして《 ⑤ 》に侵攻した。イタリアは、この後、ナチス＝ドイツに接近し1936年ベルリン＝ローマ枢軸を結成した。また1931年、王政が倒れたスペインでは、1936年に人民戦線内閣が成立した。これに対して、シ将軍を中心とする旧王党派や地主層などの勢力が反乱を起こした。このスペイン内戦に対し、⑥ドイツ、イタリアは強力に反乱軍を援助した。他方、各国の社会主義者や知識人は国際義勇軍を編成して政府軍を支援した。

(1) 文中の ア ～ シ に入る語は何か。次のA～Tからそれぞれ選び、記号で記せ。

- A　ネヴィル＝チェンバレン　　B　フランクリン＝ローズヴェルト　　C　ヒンデンブルク
- D　フランコ　　E　マクドナルド　　F　フーヴァー　　G　ハーディング
- H　チャーチル　　I　共和党　　J　共産党　　K　民主党
- L　モラトリアム　　M　軍備拡大　　N　金本位制　　O　アルザス・ロレーヌ
- P　ヴェルサイユ　　Q　ラインラント　　R　ルール　　S　ロカルノ
- T　ザール

(2) 下線部①について、この時期の政策に含まれないものはどれか。次のA～Dから1つ選び、記号で記せ。

- A　全国産業復興法　　B　国際通貨基金の設立　　C　TVAに代表される公共事業　　D　ワグナー法

(3) 下線部②について、この法律は何か。

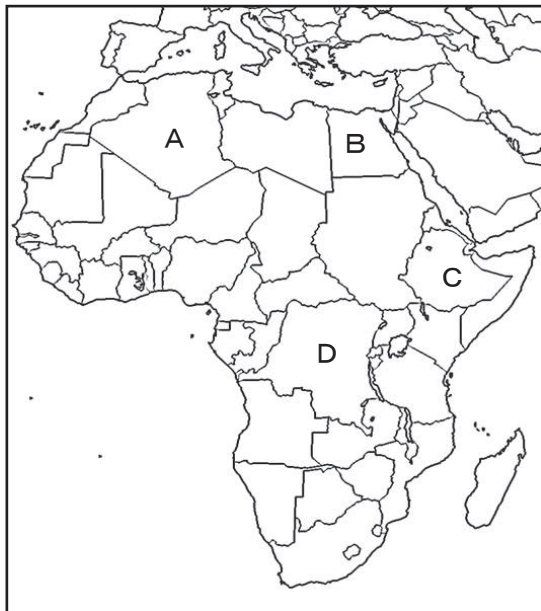
(4) 下線部③について、このときアメリカに亡命した、相対性理論で有名な物理学者は誰か。

(5) 下線部④について、この会談で、英仏が譲歩した内容について記せ。

学力検査問題〔世界史〕(その6)

解答はすべて解答用紙に記入せよ。

- (6) 下線部⑤について、ここに入る国はどこか。地図のA～Dから1つ選び、記号で記せ。



- (7) 下線部⑥について、次の絵は、この内戦でのドイツ軍の空爆と関連がある。この作品は何か。



1

(1)	(i)		(ii)		(iii)	
(2)	(i)		(ii)		(iii)	
(3)	(i)		(ii)		(iii)	
(4)	(i)		(ii)		(iii)	
(5)	(i)		(ii)		(iii)	

2

(1)		(2)		(3)		(4)	
(5)		(6)		(7)		(8)	
(9)		(10)		(11)		(12)	

(13)		(14)		(15)		(16)	
(17)							

3

(1)	ア		イ		ウ		エ	
	オ		カ		キ		ク	
	ケ		コ		サ		シ	
(2)		(3)		(4)				
(5)								
(6)		(7)						

1

(1)	(i)	アレクサンドロス大王	(ii)	アケメネス朝ペルシア	(iii)	A
(2)	(i)	アッティラ	(ii)	A	(iii)	C
(3)	(i)	カール＝マルテル	(ii)	B	(iii)	C
(4)	(i)	唐	(ii)	C	(iii)	B
(5)	(i)	ワールシュタットの戦い	(ii)	B	(iii)	D

2

(1)	陳勝呉広の乱	(2)	D	(3)	B	(4)	九品中正
(5)	司馬炎	(6)	A	(7)	安史の乱	(8)	B
(9)	D	(10)	C	(11)	D	(12)	洪秀全

(13)	C	(14)	洋務運動	(15)	辛亥革命	(16)	中国同盟会
(17)	民生						

3

(1)	ア	I	イ	F	ウ	B	エ	E
	オ	N	カ	J	キ	C	ク	T
	ケ	S	コ	Q	サ	A	シ	D
(2)	B		(3)	全権委任法		(4)	アインシュタイン	
(5)	ズデーテン地方のドイツへの割譲を認めた。							
(6)	C		(7)	ゲルニカ				